

e-ビーフNEWS 北の牧場から

July 2021

十勝の初夏のにおい

一面緑の大地に代わり、その緑も濃さを増し初夏の香りがプンプンしています。朝の気温は14、5℃なれど、日中は真夏日の30℃を越す日もあり、お日様の力を感じます。でも夏至を境に一転、曇天続きで、気温も下降気味で先日は肌寒くストーブを点けました。今年の夏は過ぎたなあと思わせる日々です。

今年の牧草は、春先の好天で伸びが一段と早く、天気が続いている間に一番草の収穫も順調に終わりました。畑にはラップした500kgもあるロールが点々としています。デントコーンの生育もよく、発芽したらあつという間に50cmにも伸びてきました。繁殖農家の出産ピークもピークを過ぎ一段落。今年は大きな事故もなく順調のようです。

例年、良い季節に合わせて、来訪者やイベントも多い季節なのですが、十勝は静かです。外の風景の変化とは違い季節感がくるってきそうですね。トンネルを抜けるのはもう少し、がんばってゆきましょう



活動のお知らせ

- 6/5(土) とかちプラザ/コロナ禍臨時休館にて、ZOOM開催 開催条件に達する
環境リサイクル肉牛協議会第22回総会(特定非営利活動法人第13回通常総会)
議案書全て了承(欠席一任含む)、今年度事業開始
- 6/11(金) 道総研畜産試験場 肉牛グループとの打合せ(左、花房)
藤川主幹、國重享子、岩上弦太郎氏(佐藤幸信氏の後継担当)
肉牛飼養技術研修会の運営・シンポジウムの運営・テーマについて
農林水産省「みどり戦略」の畜産施策/SDGs等、講演者選択等を進めてゆく
「e-びふ」認定委員会予定 北大静内研究牧場申請予定
- 10/28(木) 北海道肉専用種枝肉共励会 環境循環型肉牛生産シンポジウム

NEWSばか読み

- 全食品事業者にHACCP義務化実施6/1:流れにマニュアル化必須
- 中国 第3子容認 少子高齢化に危機感6/1:日本は多子推奨強化を
- 農林水産省 コンビニのPOP「手前取り」推奨で食品ロス減
6/3:でも奥取り
- 食肉大手TBS サイバー攻撃で生産中止状態に6/3:アナログも必要では
- 食品輸出4月4割増 コロナ禍で勢い 昨対牛肉3倍 経由中国向け増
6/5:ここにも回復度
- 佐賀焼肉店 佐賀牛脂使用し「しっとり石焼」開発販売
6/5:あくなき商品開発
- プラ循環法成立 コンビニ外食 ストロー Spoon削減へ
6/6:便利さとの闘い
- 北大 国内初のスマート農業研究施設22年開設へ6/7:進化は早い
- 通販食品4月12%伸び 全体では鈍化傾向へ6/7:疲れたか
- 福島浪江に大型酪農施設開設へ 25年開業し生乳1万t生産
6/8:復興農業へ
- FAO食料価格10年ぶりに高水準 不作や需要増で穀物植物油高騰
6/9:弱い国あり
- 和牛子牛相場4年ぶりに下げ枝肉相場下落響く6/9:それでも高値
- 米国産ポーク高騰ポークショック 国内産2割高に6/9:牛肉を
- 花き卸取扱高 最低更新6/10:花送ろう
- キューピー 卵を使わない大豆製卵食品を開発
6/10:そのうちマヨネーズも

- USDA米国農務省 21年小麦生産8億t過去最高6/12:穀物相場は高め
- 電通調べ SDGS意識調査 地産地消の意識が低い
6/15:そこからでしょう
- ファミマ 来月からエコ割開始 食品ロス3割減6/15:できるんでしょう
- 5月外食売上 昨対プラスなれど実質減続く6/16:深刻
- 蔵王酪農センター(宮城) 酒かす麹菌でナチュラルチーズ開発
6/18:発酵菌の有効
- 農林水産省 大規模農場の防疫指針で今日見通し6/18:内容程度把握
- 政府 G7サミット踏まえ石炭火力発電の途上国支援終了
6/18:積極推進していた
- 食品スーパー5月上月売上昨対2.8%減6/23:コロナ疲れ
- 外食閉店20年5,200店舗(昨対1.9倍) コロナ影響拡大
6/23:深刻度増す
- WFP穀物相場高騰でアフリカ中心に飢餓4100万人6/24:シワ寄せ
- 関西電力 40年超しの原発再稼働へ6/24:本当にいいの
- 農林水産省 畜産温室ガス削減で持続的畜産物生産指針
6/25:根本的な課題に
- 東南アジア イスラエルの農業先端技術の導入進む6/25:小国の強み
- 総務省 国勢調査速報 人口5年で86万人減6/25:思ったより少ないね
- 20年和牛子牛生産頭数 50万超 畜産クラスター事業奏功6/29:成功か
- 山形県 脱炭素貢献度で果実の認証制度6/29:畜産は
- 経産省 エネ基本計画に原発建設盛り込まず6/30:実反映
- 北米 記録的な熱波 各地で40℃超え6/30:温暖化進む

東京直近NEWS (6/29 Shi-REPORT)

ホルス

枝相場は若干下げも高値維持にて推移。7月相場や下げにて予測。全般頭数が少なく、産地での取扱い減から定期頭数は絶対確保の意図から産地建値は生産者へプラス条件提示増。

販売状況は目立ったイベントも乏しく決して好調ではない。ただし、量販関係は輸入物も不透明で、産地の頭数不足から切落し関係の定番品物量確保のため、引き合いは継続。

販売低調も産地コストは上がっていることから販売不調期に値上げと逆ザヤ状態。

経産牛

経産牛相場は上昇続いており、出回り頭数も減少の状況。枝相場で@700下らない状況になりつつある。

販売は輸入冷凍の不足から問合せは多いが、輸入の代替品として価格数量条件等で置き換わらず。

頭数の減少から、定期パーツの供給数量にも不安が出てきている。挽き材は梅雨時期で販売停滞状況で引合いも落ち着いているが、一部では次タームの定期量販向け供給数量に不安があるため、問合せもチラホラだが、価格条件は厳しい。

1.畜産技術793号(2021.6)

1) 研究レポート: メタボローム解析を用いた牛肉中成分の品種差比較(山田知哉、食品産業技術総研機構)

メタボローム解析(News27既出)は生体中の代謝物質を網羅的に解析し、ゲノミクス解析やプロテオーム解析より容易にバイオマーカーの同定が可能です。本研究では脂肪含量の高い30ヵ月齢の黒毛和種去勢牛と赤身主体のホルスタイン種去勢牛のリブローズ肉を質量分析計とガスクロマトグラフィー(GC/MS)の装置でメタボローム解析しました。ホルスタイン種牛肉はその旨味成分であるグルタミン酸、コハク酸、イノシン1リン酸などのアミノ酸や核酸関連代謝産物が高値を示し、黒毛和種牛肉では脂肪酸類と糖類が特徴的な成分として複数同定され、この手法は牛肉品質の関連代謝物質のスクリーニングに有効と思われました。

2) 国内情報: 野生シカ食肉処理施設の現状と課題(小林信一・黒崎弘平、全日本鹿協会)

全国のシカやイノシシなど野生鳥獣による農産物被害額は2012年には230億円に及び食害による森林破壊や土壌の保水性の低下は都市災害の遠因と指摘されるようになりました。野生鳥獣の駆除後の衛生管理指針や食品衛生法によるHACCPの義務化などでシカやイノシシの食肉処理場が整備されつつありますがジビエ利用率はシカでも13.6%(2019年)と低く、特に小形のニホンジカはエゾシカより養鹿なども含めた生産性向上と費用の改善が課題です。

2.日畜会報92(2)2021.5

1)暑熱環境が黒毛和種肥育牛の生産性に及ぼす影響とその対策技術の検討(前田友香、宮崎県畜試)

宮崎県の黒毛和種去勢牛は23~28ヵ月齢の肥育後期に温湿度指数(IHI)68以上の暑熱環境に曝され、飼料摂取量や消化率の低下による生産性の低下が起きます。飼料の消化率低下を緩和する栄養管理技術として、日増体量0.75kgへの制限給与やデンプン摂取量抑制のためにトウモロコシを木材クラフトパルプへ代替することは暑熱環境下に於けるNDF消化率低下の抑制効果があるようです。地球温暖化が進み、北海道の畜産にこのような暑熱対策技術が必要にならないことを願っています。

2)黒毛和種の肉質等級別、性別および部位別筋肉繊維型と化学成分との比較(鈴木啓一ほか、東北大院農)

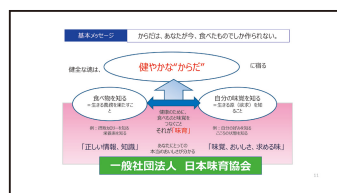
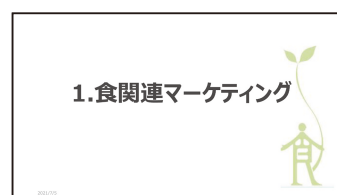
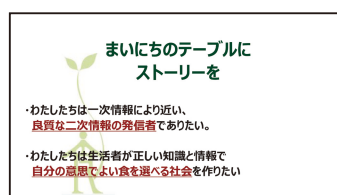
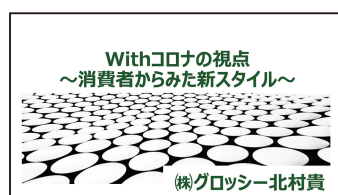
黒毛和種肥育牛は脂肪交雑に優れた肉質を持ち、改良により肉質等級4以上が80%に及びます。本研究では肉質等級による筋繊維型割合、粗脂肪含量、遊離アミノ酸などの旨味強度の相違を検討しました。肉質等級の上昇は筋肉内脂肪やオレイン酸含量を高めると共に、うま味強度形成に関与する核酸関連物質や多くのアミノ酸は有意に減少し、グルタミンと剪断力価に高い相関を示すI型筋繊維割合との間に有意な+の相関がみられ、今後の黒毛和種牛の育種改良への留意点が示されました。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2020

話題提供3.「Withコロナの視点～消費者からみた新スタイル」

全6回シリーズ①

(株)グロッシー 代表 北村貴氏



転載・再利用は固くお断りします